

ローランド株式会社

2024年12月期第1四半期決算説明会 Q&A 要旨

日時：2024年5月9日 13:00~13:25

説明者：執行役員 CFO 袴田裕一

Q1. ディーラー在庫の調整状況について教えてください。

前期末の状況から着実に改善が進んでいますが、全体的にはまだやや多い状況と認識しています。製品カテゴリ別では鍵盤楽器、域別別では日本などがまだ多い状況です。

Q2. 新興国の状況について教えてください。

ブラジル、メキシコ、インドネシア、インドなど、セルスルーは好調に推移しております。

Q3. 2月に発表された2024年連結営業利益予想にて、通期の販売数量影響が-15億円、売価/原価変動影響が+37億円となっていました。この見立てに変化はありますか。

販売数量変化は概ね想定線ですが、売価/原価変動影響については、販売戦略正常化（価格の見直し）が進捗しているものの、想定より少しスローな状況となっております。売価/原価変動で+37億円が実現できない場合に備えてコストコントロールで対応しています。

Q4. 2Q以降の北米市場の需要に不透明感があると考えられている背景を教えてください。

前期や前々期のセルスルーと比べると若干弱い傾向にあることから不透明感があると考えておりますが、新製品の発売等でカバーしていきたいと考えております。

Q5. 販売戦略正常化の見通しについて教えてください。

ディーラーの在庫調整進捗に伴うセルイン回復に応じて、販売戦略正常化もさらに進むと考えており、2Qまでにはある程度の正常化を見込んでおります。

Q6. 1Q発表の主な新製品（説明会資料P.11）に記載のある『GO:KEYS 5』『GO:KEYS 3』の発売後の状況と、鍵盤楽器全体に対する影響額について教えてください。

売上貢献は2Q以降本格化すると考えています。鍵盤楽器全体への影響はそれほど見込んでおりませんが、エントリー層の開拓、新興国でのシェア拡大に向けて、中長期的に非常に重要な製品であると考えております。

※本資料は、ご出席者様から頂戴した主な質問をとりまとめたものです。回答の意図をより分かりやすくするため一部加筆修正を行っております

免責事項

本資料には、ローランド株式会社の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、

当社における実際の業績と異なる恐れがあります。